

事業報告書（令和 4 年度）

事業名 ランナー目線からはじまる地域活性化大作戦

団体名 健康生き活き絆会議

担当者名 赤澤 光

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

月に 1 度王子が岳清掃トレランを代表の瀬野加奈子様と共に継続的に実施して、少しずつ仲間の輪も広げ、街中プロギングのメンバー層も広げています。

昨年につき、運動習慣の無い多くの方々の健康増進に向け、保健所が作成した「ええとこ発見図」を基にデジタル版 Google Map を編集し、17 公民館に告知用の A2 ポスター各 1 枚と A4 チラシ各 100 枚を配布しました。

健康生き活き絆会議ホームページも開設し、コースマップや活動紹介（YouTube）等を公開しています。

<https://sites.google.com/view/kizunakaigi/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0?authuser=0>



健康生き活き絆会議 HP

2. ESD の視点

① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

毎月プロギングを実施することで、参加者には習慣的にゴミを見つけ拾う意識が常に働いている様に思えます。自分の住む地域でのプロギング実施の際には必ず声を掛けてと言う仲間が増え、実際に参加してくれています。

② どのように学び合いを取り入れたか

各地域の活動グループとのプロギングのコラボレーションを実施すると同時に、ワークショップなど座学にも仲間と参加しました。

③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

数名のメンバーで定期的に公の場所で清掃活動（プロギング）をすることで、その光景に触れた方々への気づきに訴求しました。

また、いろんな場所で開催することで、ゴミの多い場所の傾向も分かり、みんなとどうすれば捨て辛い状態に出来るかを再考して共有する機会を得ました。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

SDGs ニューフィットネスであり、自分磨きや社会貢献につながるプロギングの輪が広がっています。岡山市環境局環境部環境事業課へ提出したメンバーリストも令和3年6月時点37名から令和4年末53名、令和5年1月現在60名までに増えています。令和4年4月20日に富山学区のピックアップウォークメンバーの方々とコラボし、富山公民館で交流会も実施しました。

また、他のラン仲間グループによるプロギング等の活動も多く、日ごろの仲間と野村證券岡山支店のプロギング企画やNPO グリーパートナー様の活動にも参加の輪を広げています。大人が活動するところには子どもが付いてきます。岡山大学附属中学校の生徒たちとの関りも持て、高校生生の兄弟と参加してくれる若い力も増えはじめています。

街中プロギングには、見ている地域の方々の魂を揺さぶる力があり、確かな影響力を感じています。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

「ええとこ発見図」デジタル版を基に、各公民館と連携して地域資源の再整備と、それを活用して頂くことで地域住民の活性化を図っていきたくはありますが、実際のアクセス数＝利用状況を見ると、福田中学校区 1,178回、富山中学校区 1,024回、御南中学校区 842回、足守中学校区 551回、上南中学校区 357回、旭東中学校区 252回、高松中学校区 177回、興除中学校区 146回、京山中学校区 111回、妹尾中学校区 33回、福浜中学校区 32回、芳田中学校区 30回、岡輝中学校区 24回、福南中学校区 24回、藤田中学校区 22回、灘崎中学校区 20回と活用にはばらつきがあり、今後の課題が顕在化した部分を修正していきたくは。

近くに仲間がいる、仲間が見つかる、お互いに顔が分かる人と人が繋がれば絆や新しい想いも生まれます。そうした地域に根差した仕組みを構築したい。